

平成 30 年度 第 1 回 大阪府立槻の木高等学校後援会役員会の記録

開催日時：平成 30 年 11 月 10 日(土) 12:30~14:00

開催場所：大阪府立槻の木高等学校 応接室

出席者：澤田副会長、岸本書記、山口会計、木村理事、高尾理事、池上理事、
河嶋外部監査人

(学校) 大西雅美校長、田中徹教頭、山本尚首席

【会議内容】

1. 澤田副会長から挨拶がありました。
2. 河嶋外部監査人から、第 1 回総会（平成 30 年 7 月 7 日開催）から平成 30 年 9 月末までの後援会に関する活動報告を行いました。
 - ・平成 30 年 7 月 7 日 第 1 回後援会総会を大阪府立槻の木高等学校の会議室で開催。提出議案は全て承認を得ました。※議案及び議事録はホームページに掲載。
 - ・平成 30 年 7 月 18 日 生徒、教職員、PTA 保護者と、共同で PTA 野菜園への苗植えを行いました。 ※4 者共同の取り組みは、当校では初めて。
 - ・平成 30 年 9 月 29 日 生徒、教職員、PTA 保護者、さらに同窓会と地域の方々の共同で学校に花苗を植える「槻の木高校に花を植えよう」を実施しました。 ※6 者共同の取り組みは、当校では初めてで、府立学校でも数少ない事例です。
 - ・平成 30 年 5 月 4 日 高槻ジャズストリート会場
平成 30 年 9 月 8 日 槻の木高校文化祭会場
PTA バザーを実施し、収益金を後援会会計に収入しました。
 - ・平成 30 年 6 月 14 日 オーストラリアのアリススプリングス校から 12 名が槻の木高校を訪れ、歓迎会の支援を後援会から行いました。
 - ・平成 30 年 7 月 28 日から平成 30 年 8 月 6 日まで 生徒希望者によるオーストラリア語学研修が実施され、付添教員 2 名の経費支援を後援会から行いました。
3. 山口会計から、平成 30 年 4 月 1 日から平成 30 年 9 月 30 日までの収支の報告がありました。
 - ・平成 30 年 7 月 7 日 第 1 回総会時に 17 名の入会者があり、34,000 円の入会金収入がありました。
 - ・平成 30 年度 16 期入学生の保護者からの寄付金が 585,000 円ありました。
 - ・平成 30 年 5 月 4 日高槻ジャズストリートでの P T A バザー収入が 40,805 円、平成 30 年 9 月 8 日槻の木高校文化祭での P T A バザー収入が 25,500 円でした。
 - ・支出では、第 1 回総会に係る案内状発送経費と当会の銀行印の作成費用で合計 20,255 円の運営費支出がありました。

- ・平成 30 年 6 月 14 日オーストラリアのアリススプリングス校から 12 名が槻の木高校を訪れた際の交流経費として 9,353 円の支出を行いました。
- ・平成 30 年 7 月 28 日から平成 30 年 8 月 6 日まで、生徒希望者によるオーストラリア語学研修に係る、付添教員 2 名の経費支援として 680,000 円の支出を行いました。

また、収入及び支出証拠書類の作成状況について説明が行われた。

4. 河嶋外部監査人が、会計の内容について確認を行いました。

なお、会則で定められた半期毎の監査については、学校からの資金引継ぎ後間もないことから、平成 30 年度においては年度末に平成 30 年度の全期間を監査することを役員会で承認されました。

【学校からの協議事項について】

5. 山本尚首席から、NEXT STAGE 及び先進校視察に関する新たな支援の依頼がありました。また、来年度の国際交流の計画について説明がありました。

6. 後援会役員からの次の意見を行いました。

- ・先進校視察の支援に対して、他校の状況やその必要性について、学校に質問を行いました。
- ・学校側からは、「現状では、学校間の多くでは行っている。先進校視察は、教育活動において非常に重要な活動であり、出張先の学校にはご迷惑をお掛けもしていることから支援についてお願いしたい。」として、強く支援依頼がありました。
- ・金額の上限を定めることで、今年度は支援を行うことで役員会は承認した。
なお、依頼のあった「京都大学 i P S 研究所」及び「関西大学総合情報学部久保田研究室」については、各 10,000 円を上限に、役員会は承認する。
- ・先進校視察は、今年度は、1 校あたり 3,000 円を上限に、役員会は承認する。
なお、来年度からのことについては、今後役員会で検討し、継続して支出するとなれば次回総会に諮ることとする。
- ・役員から「付添教員の旅行費用であるが、公費並として支出するとのことだが、日当は後援会としては支出すべきではないと考える」との意見があった。
- ・学校側からは、「今年度の支出については、総会前の協議において教育庁からの指導もあり、公費に準じて支出をする旨で了解を得たと記憶している。
しかし、既に会計は学校側から独立させたことから、来年度予算では判断していただければ良いと考えています。」と回答があった。
- ・役員会としては、本年度の支出については承認するが、次年度以降については議論することで確認した。

以上